

## 第13課 鈴木さんの1日

### 大切な表現

1. 7時に起きて、歯を磨いて、顔を洗います。
2. 動詞の「た形」
3. ごはんを食べた後で、歯を磨きます。
4. 毎日学校で勉強をしたり、運動をしたりします。
5. お茶を飲みながら、テレビを見ます。

### Can-do/学習目標

- ・一日の行動を順を追って、説明することができる。
- ・同時に二つの動作をするという表現を使うことができる。

### 文法項目

1. ～て、～て、～
2. 動詞の「た形」
3. ～た後で、～
4. ～たり、～たりします
5. ～ながら、～

### 導入

1. ～て、～て、～
  - ① p 77 の重点句型 1 を見て、「～て、～て、～」が使われる場面を紹介する。
  - ② p 64&65 のすべての動作を学生が理解できているか、確認する。
  - ③ まずは、p 64 の動詞を「て形」に変換し接続する。
2. 動詞の「た形」
  - ① p 79 の重点句型 2 を見せ、「～ました」と「た形」は共に過去を表すことを説明する。
  - ② p 78～79 の重点句型 2 を見せ、「第2類動詞」→「第3類動詞」→「第1類動詞」の順で「た形」の作り方を教える。
3. ～た後で、～
  - ① 板書 **動詞た形** + で、～。(動作の順序表現)
  - ② 先生が下記のような質問をし、学生には上記の文型を使い答えてもらう。
    - 1) 家に帰った後で、なにをしますか。
    - 2) 晩ごはんを食べた後で、なにをしますか。

#### 4. ～たり、～たりします

- ①板書 **動詞た形**＋り、**動詞た形**＋りします。(複数の動作の例示表現)
- ②先生が下記のような質問をし、学生には上記の文型を使い答えてもらう。
- 1) 週末、なにをしますか。
  - 2) 夏休みに、なにをしますか。

#### 5. ～ながら、～

- ①板書 **動詞ます形**＋ながら、～。(継続的な動作の同時進行表現)
- ②先生が下記のような質問をし、学生には上記の文型を使い答えてもらう。
- 1) よくご飯を食べながら、なにをしますか。
  - 2) 音楽を聞きながら、なにをしますか。

### 教え方のワンポイント

#### 1. ～て、～て

##### 練習1 7時に起きて、歯を磨いて、顔を洗います。

- \* 「池袋」「新宿」「上司」「12時」「1時」などの誤読しやすい単語を先に練習する。
  - \* 動詞の前の助詞の用法を確認する。(其他文法事項1&2)
  - \* 時制表現だが、「時」を表す言葉が過去、或いは非過去を表すかによって、動詞の後ろの部分が異なることを説明する。(重点句型1)
- 板書 **時制表現** 「～て、～て、～ます／ました。」
- \* p64&65のイラストカード(動詞が記載されていないもの)を準備し、「～て、～て、～」の文型で練習をする。



#### 2. 動詞の「た形」

##### 練習2 動詞の「た形」

- \* まず、「て形」の作り方の復習をする。
- \* 次に、「第2&3類動詞」で「た形」を作る練習をする。
- \* そして、「第1類動詞」で「た形」を作る練習をする。
- \* それから、全ての分類の動詞をランダムに「た形」にする練習をする。
- \* 時間に余裕があれば、「辞書形」→「た形」、「た形」→「辞書形」の練習をさせてもいい。
- \* 第18課に出てくる「丁寧体」と「普通体」を簡単に導入する。

板書

	丁寧体	普通体
現在肯定	～ます (食べます)	辞書形 (食べる)
過去肯定	～ました (食べました)	た形 (食べた)

### 3. ～た後で、～

#### 練習3 ごはんを食べた後で、歯を磨きます。

\*動詞の前の助詞に注意しながら、練習をさせる。

\*時制表現だが、「時」を表す言葉が過去、或いは非過去を表すかによって、動詞の後ろの部分が異なることを説明する。(重点句型3)

板書 時制表現 「～た後で、～ます/ました。」

\*教科書には練習はないが、「名詞」+の後で、～」という文型があることも紹介する。(重点句型3)

\*「～た後で、～」は「～て、～」と比べ、先の動作が終了した後で、次の動作が行われることを表し、前後の二つの動作には明確な区切りが感じられる。一方、「～て、～」は単に動作の順序を表すに過ぎないと説明する。

#### 会話1

\*会話の状況を理解しにくい学生もいるので、状況を中国語で説明する。

\*「中村君」の「君」の使い方を説明する。(其他文法事項3)

\*「プリンスホテルで昼食をとって」と「スピーチをした後で」の部分で、この二つの文型は用法が同じだと勘違いをしてしまう学生がいるかもしれないが、「～た後で、～」は「～て、～」と比べ、先の動作が終了した後で、次の動作が行われることを表し、前後の二つの動作には明確な区切りが感じられる。一方、「～て、～」は単に動作の順序を表すに過ぎないと説明する。

\*「東銀行の鈴木支店長との夕食」は大きい名詞であると説明し、下記のような例文を示し、構造の違いを理解させる。

板書 ・今日[は]東銀行の鈴木支店長との夕食です。 : 名詞文

・今日社長[は]東銀行の鈴木支店長と夕食をとります。 : 動詞文

### 4. ～たり、～たりします

#### 練習4 毎日学校で勉強をしたり、運動をしたりします。

\*時制表現だが、「時」を表す言葉が過去、或いは非過去を表すかによって、動詞の後ろの部分が異なることを説明する。(重点句型4)

板書 時制表現 「～たり、～たりします/しました。」



\*文末は、「～たりします/しました。」で終わることを強調する。

板書 ○ : 週末、映画を見たり、友達と遊んだりします。

× : 週末、映画を見たり、友達と遊びます。

\*「～たり～たりする」は、複数の動作を例として挙げるため、ある日にすべての動作を行うわけではない。もちろん、すべての動作を行う場合もあるし、動作の順番も決まっていないことを説明する。

\*この文型は、基本的に複数の動詞を使うが、会話などの中で動詞を一つだけ使うこともある。ただし、その場合、話者がほかの動作を暗示している場合が多い。

\*動作の例示には「～たり～たりする」を使用し、名詞の例示には「～や～など」を使用することを確認する。(GoGoGo 1 : p 196 重点句型6)

## 5. ～ながら、～

### 練習5 お茶を飲みながら、テレビを見ます。

- \* 「～ながら、～」では、二つの動作が行われるが、重要な動作は後ろに置くことを説明する。
- \* この文型では、二つの動作の主語は同一人物でなければならないと説明する。(重点句型5)
- \* この文型は二つの動作が「同時に行われる」というニュアンスが強いため、否定文にするのは、不自然で一般的ではないと伝える。
- \* 文末は、「～ながら～ます/ました。」或いは、「～ながら、辞書形/た形。」で終わることを説明する。

板書 : :

<input type="radio"/>	よくお茶を飲みながら、テレビを見ます。	現在形	丁寧体
<input type="radio"/>	昨日お茶を飲みながら、テレビを見ました。	過去形	丁寧体
<input type="radio"/>	お茶を飲みながら、テレビを見る。	現在形	普通体
<input type="radio"/>	お茶を飲みながら、テレビを見た。	過去形	普通体

### 会話2

- \* 「今日は元気ですね。」は「陳さん、今日は元気ですね。」であり、助詞「は」は「今日」の強調だと伝える。
- \* 「今日は金曜日、～」は「今日は金曜日です。」であり、助詞「は」は主題を表す名詞文だと説明する。
- \* 「いつもどうですか。」の「どうですか。」は、「なにをしますか。」に言い換えることができる。ただし、この二つはニュアンスが異なることを説明する。

板書 ・ どうですか。 : 特定な状況下での方法や手順に焦点  
 ・ 財布を落とした時、どうですか。  
 ・ なにをしますか。 : 日常的な活動における行為や内容に焦点  
 ・ 放課後に、よくなにをしますか。